



令和8年度 学校経営シラバス（定時制）

北海道小樽潮陵高等学校

1 学校教育目標

社会に開かれ信頼され、生徒が生き生きと活動する学校づくりをめざし、次の資質・能力の育成をめざして教職員が協働して教育に取り組む。

- (1) 基礎・基本を身に付け自ら学ぶ
- (2) 社会性、公共心に富み地域社会を理解し地域に貢献する
- (3) 豊かな人間性を備え心身ともに健やかである

2 スクール・ミッション

- (1) 健康的な生活習慣を身に付け、自ら考え主体的に判断し行動できる生徒の育成
- (2) 望ましい勤労観、職業観を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成
- (3) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得により、コミュニケーション能力や諸課題への解決力を身に付けた生徒の育成

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針

- (1) 基本的な生活習慣づくりを通じ、心身ともに健やかに生きる力を育てる。
- (2) 卒業後の進路や将来の姿を思い描き、自分らしい生き方を実現する力を育てる。
- (3) 基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付け、さらに自ら学ぼうとする力を育てる。
- (4) 互いを尊重し合い、協働する事を大切にする社会適応力を育てる。

○教育課程の編成及び実施に関する方針

- (1) 一人一人の学力や理解度に応じ、対話的で理解しやすい少人数の学習指導を行う。
- (2) 基礎学力を身に付けるための学習機会を各学年に設定する。
- (3) 自ら意欲的に学び、努力する態度を養う教育活動を行う。
- (4) 学校行事や校外での体験的学習を重視した教育活動を行う。
- (5) 職場体験、講話等外部との連携の下で、勤労観や職業観を身に付ける教育活動を行う。
- (6) 3年間で卒業を目指す生徒に対応し、三修制を取り入れた教育活動を行う。

○入学者の受入れに関する方針

- (1) 義務教育段階の学び直しを含め、基礎学力を身に付けたい生徒
- (2) 毎日の学びを通して高校を卒業したいという意志を持った生徒
- (3) 学業の必要性を感じ、再挑戦しようとする生徒
- (4) 自分の夢や将来の希望を持ち、その実現に向けて継続的に努力する生徒
- (5) 学校行事や生徒会活動等を大切にし、学校生活に意欲的に取り組む生徒

4 指導上の重点事項

重点 目標	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の多様な入学動機や特性を尊重し、「学び直し」と「よりよい人間関係づくり」を両輪として、生徒が自信を持って目標を定め努力できる教育活動を実施する。 (2) 「雪あかりの路」への参加など、地域をフィールドとした体験的な学習を多く取り入れ、生徒の社会性とコミュニケーション能力の育成を図る。
学習 指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎的・基本的学習内容の定着を図り、生徒の学習意欲の喚起を図る。 (2) 生徒の能力に応じ、一人一人を伸ばす学習指導の工夫・改善に努める。 (3) 学ぶ意欲を高めるための教材の研究と評価方法の工夫に努める。 (4) 生徒のつまづきの発見と個別指導の充実に努める。 (5) 教育課程と教務内規の見直しを図り、多様な生徒の学力向上に努める。
生徒 指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の規範意識・自主性や協調性、社会性等の自己管理能力の向上に努める。 (2) 心の触れ合う共感的な生徒指導に努め、個別指導を通じて学校生活への適応を図る。 (3) 教育相談の充実に努め、不適応生徒の早期対応と個別指導の徹底に努める。 (4) ホームルームや特別活動の充実に努め、望ましい人間関係の育成に努める。 (5) 全教職員の共通理解のもと、組織的で統一性をもった生徒指導を図る。
進路 指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 一人一人の個性・能力の伸長を図り、正しい職業観・勤労観の育成に努める。 (2) キャリア教育を推進し、就職先の開拓に努める。 (3) 家庭・地域・クラス担任との連携を密に行い、進路相談の充実に努める。 (4) 進路情報・求人情報を提供し、適切な進路選択を援助する。
健康 ・ 安全 指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の安全意識の高揚と健全な心身の育成に努める。 (2) 給食指導・保健指導を通じて、自己の健康管理能力の育成に努める。 (3) 健康増進のため、体育的活動に参加する態度の育成に努める。 (4) 保健室機能を生かし、教育相談の充実に特別支援学校との連携に努める。

5 目指す資質・能力の育成に向けた達成目標と方策

育成を目指す 資質・能力	達成目標（中期目標）	方 策
(1) 基礎・基本を身に付け自ら学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる。 学習に取り組む意欲と不断に努力する態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ意義を理解できるような教材の精選 ICT等（生成AI）の活用 習得・活用・探究といった学習過程の確立と指導方法の工夫・改善 1時間や1単元の授業で身に付けられる資質・能力の具体的な提示 観点別評価の充実による指導と評価の一体化の推進
(2) 社会性、公共心に富み地域社会を理解し地域に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育を推進し、職業観・勤労観を育成する。 自己管理能力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップなどの体験活動や講演会の内容の一層の充実 生活体験発表の活性化 生徒面談、教育相談の充実 本校の実態に合わせた生徒会行事の工夫・改善 ICT機器等（SNS）の使用に関わる情報モラル指導の徹底
(3) 豊かな人間性を備え心身ともに健やかである	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識、自主性、協調性・社会性等を向上させる。 いじめの未然防止に努める。 健康意識を醸成し、体力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、礼儀・マナー、服装・態度、言語活動等の向上に向けた指導 いじめ防止に関するアンケートの定期的な実施 健康指導の充実（熱中症や感染症）

6 重点課題と具体的な取組

領域	重点課題	具 体 的 な 取 組
教 育 活 動	授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識及び技能の習得向け、ICT等（生成AI）を活用した授業を工夫する。 取得した知識・技能を活用して課題を解決する協働的な学びを行う。 課題設定／情報収集／整理・分析／まとめ・表現のサイクルを重視した探究活動を行う。 教員の学ぶ姿を手本に、生涯にわたって学び続ける態度を育てる。
	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> On-Timeにおける学び直しによる義務教育段階の基礎学力の定着を図る。 学びの基礎診断や学力テスト（CBAテスト）を活用するほか、読解活動を通して、社会で求められる基礎学力の定着を図る。
	特色ある教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「雪あかりの路」への参加など、地域社会に貢献することの意義を学ぶ教育活動を実施する。 他校（定時制）生徒との交流など、社会性を高める教育活動を実施する。
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への日常的な声かけを基本とする生徒理解や実態把握と、相談週間における教育相談（全教員との個別面談）の充実を図る。
学 校 運 営	生徒募集	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会や市内及び近隣の中学校訪問、生徒募集ポスターを通して本校の魅力を発信し、生徒募集に努める。
	学校情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> PTA通信、各種便りや学校公式HPなどを通して、三修制やきめ細かな少人数指導など、本校の魅力ある取組を発信する。 熱中症や感染症対策への取組を周知し、家庭の理解・協力を要請する。
	働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 会議・業務の見直しによる業務の縮減や効率化に努め、働き方改革を推進する（校務DXの推進）。